

中央会月刊誌

中小企業

かごしま

2013

第691号

1

特集
テーマ

● 知恵と知財でがんばる中小企業
(知的財産権活用事例)



鹿児島県中小企業団体中央会



業務災害補償制度のごあんない

業務災害への備えは お済みですか？

例えば、こんな心配にお応えします

事故防止は徹底しているが、万一の重大事故が心配だ

万全の注意を払っていても、死亡・後遺障害の発生確率はゼロではありません

ちょっとしたケガが多くなってきた

従業員向けの福利厚生制度の充実が、安心して働ける環境を作ります

パート・アルバイトの保障も考えなければ…

！
あります

全国中小企業団体中央会の

業務災害補償制度 (※1) であれば、

万一の業務災害から企業経営を守ります。

さらに、個別で加入するより

最大約60%割安 (※2) です。

(※1) 業務災害補償制度は、傷害総合保険・労働災害保険（使用者賠償責任条項）で構成されています。

(※2) 団体割引30%、過去の損害率による割引30%、役職員一括契約割引10%（売上高より換算した被保険者数が20名以上の場合）を適用した傷害総合保険部分の1名あたりの保険料です。

本制度は、全国中小企業団体中央会が契約主となり、損害保険ジャパン、東京海上日動火災保険、日本興亜損害保険、あいおいニッセイ同和損害保険、三井住友海上火災保険が引受保険会社となって募集します。

詳細については、鹿児島県中小企業団体中央会
(099-222-9258)まで ご連絡下さい。

CONTENTS

年頭所感	2
鹿児島県中小企業団体中央会会長 小 正 芳 史	
鹿児島県知事 伊 藤 祐一郎 様	
鹿児島市長 森 博 幸 様	
日本銀行鹿児島支店長 家 田 明 様	
商工中金鹿児島支店長 山 口 治 様	
全国中小企業団体中央会会長 鶴 田 欣 也 様	
特 集	9
知恵と知財でがんばる中小企業（知的財産権活用事例）	
中央会の動き	16
● 中央会年始会を開催	
● 岩田名誉会長県民表彰受賞祝賀会を開催	
● 児童養護施設の子供たちに自転車を贈呈 中央会青年部会	
トピックス・インフォメーション	18
● 設立20周年記念式典を開催 宇宿商店街振興組合	
● 先進の車体整備に対応する技術講習会を実施 鹿児島県自動車車体整備協同組合	
● 第23回薩摩焼フェスタを開催 鹿児島県陶業協同組合	
● ホームページ開設で“活性化”を図りませんか！ IT活用研修のご案内	
年賀広告	20
業界情報	32
平成24年11月 情報連絡員報告	
倒産概況	34
平成24年12月 鹿児島県内企業倒産概況	
中央会関連主要行事予定	36



読むと、もっと鹿児島が好きになる。

特集

山形屋の秘密。

鹿児島 リージョン

検索



最新号も含め、これまでのバックナンバーはすべてリージョンのホームページで読むことができます。
〈スマートフォン、iPadにも対応〉



〒891-0122 鹿児島市南栄3-1-6

【代表】099-268-1002 www.fuchigami.net

鹿児島銀行(全店)、ファミリーマート(県内全店)ほか書店・ホテル・病院などでご入手いただけます。

年頭のご挨拶

鹿児島県中小企業団体中央会
会長 小正芳史



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、平成25年の新春をご家族お揃いで健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

また、昨年中は、本会事業の推進に当たりまして、格別なるご支援、ご協力を賜りましたことに、心から御礼申し上げます。

さて、昨年は、全ての原発の稼働停止や中国での反日暴動など、我が国経済にとって強い逆風が吹いていましたが、その反面、経済効果をもたらした東京スカイツリーの開業、メダル獲得数が史上最多となったロンドンオリンピックでの日本人の大活躍、京都大学の山中伸弥教授のノーベル医学・生理学受賞など、明るい話題も数多くあり大変元気づけられました。

このような中、日本経済は東日本大震災の復興需要の本格化により内需が堅調に推移しましたが、全体としては閉塞感が漂う一年でありました。しかしながら、年末から円安や株価の上昇傾向が続くなど、経済回復の明るい兆しが見え、期待感が高まっております。

一方、政治においては、混乱状態が長引き師走の総選挙となった結果、日本経済再生の期待を受けた自民党が294もの議席を獲得し、3年3か月ぶりに政権を奪還しました。

新政権には、デフレ脱却を最優先課題とした強力なリーダーシップで本格的な景気回復に向けての経済対策が実効あるものにされることを切望するところであります。

九州新幹線の全線開業で多くの方が本県を訪れ「鹿児島の魅力」を感じていただきました。今後とも新幹線を主軸として、観光などの効果を最大限に地域経済の活力向上に活かしていくことが肝要であります。

また、昨年鹿児島県議会において「中小企業の振興に関するかごしま県民条例」が可決されましたが、この条例の趣旨にそった、総合的・計画的な中小企業振興の支援策が推進されることを期待いたします。

平成25年は巳年であります。『巳』という字は胎児を表した象形文字で『起こる、始まる、定まる』などの意味があるといわれております。この巳年を皆様方と一緒に、日本経済の再生元年にしたいものであります。

ところで、本会は昨年、『組合と共に明日を拓く中央会』をスローガンに、次のような理念を制定いたしました。

- 一、相互扶助の精神で中小企業の活性化を目指します
- 一、組織の力で地域経済の繁栄に寄与します
- 一、明日への更なる飛躍に挑戦します

これら3つを柱に、本会の使命であります『組合を通じた中小企業の活性化』を推進することとし、これまで以上に組合の皆様と連携を密にし、関係者の方々の協力を頂きながら本県経済の振興に全力で取り組んで参ります。

中小企業が団結と組織の力でこの難局を乗り越え、新しい年が未来に向かう飛躍の年となることを心より願っております。

結びに、本年が皆様方にとりまして希望に満ちた素晴らしい明るい一年になりますことを心から祈念し、年頭のご挨拶といたします。

21世紀・新たな未来の 創造に向けて

鹿児島県知事 伊藤 祐一郎



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

鹿児島県中小企業団体中央会におかれましては、中小企業の連携支援や事業協同組合等の育成・強化に努められ、本県中小企業の振興と地域経済の発展に多大な御貢献をいただいておりますことに深く敬意を表しますとともに、県政の推進につきまして、格別の御支援・御協力をいただき、心から感謝を申し上げます。

現在、我が国は、グローバル化の急速な進展や本格的な人口減少、少子高齢化の進行など大きな変革期を迎え、これまで有効に機能していた様々なシステムが十分に機能しなくなっており、将来に対しての漠然とした不安感や閉塞感が強まりつつあります。加えて、東日本大震災の被災地の復興、エネルギー・環境政策の再構築、不透明感を増す経済情勢や安全保障を巡る問題など多くの課題に直面しております。私としましては、今後の国政の動きを注視しつつ、本県の発展と県民福祉の向上に向け、県政を着実に推進してまいりたいと考えております。

さて、昨年台湾との定期航空路線が就航し、本県とソウル・上海・台北の主要都市が直接結ばれるなど九州新幹線全線開業に引き続き、「環黄海経済圏」をつなぐ高速交通ネットワークの充実が図られました。今後とも、国の内外を問わず、本県経済界と連携し「本物。鹿児島県」の多彩な魅力を様々な機会を捉えて積極的に情報発信し、更なる県政

の浮揚発展に結びつけてまいりたいと考えております。

また、本県経済や社会の活力向上のためには、地域の経済や暮らしを支え、牽引する担い手である中小企業が発展、活躍することが重要であり、昨年制定された「中小企業の振興に関するかごしま県民条例」に基づき、中小企業振興施策の推進に努めてまいりたいと考えております。

私としましては、時代の状況変化に的確に対応しながら、「かごしま将来ビジョン」やマニフェストに基づき、「子供からお年寄りまですべての県民にとって優しく温もりのある社会」の形成を目指し「力みなぎる・かごしま」、「日本一の暮らし先進県」の実現に向け、全力を挙げて取り組んでまいりますので、引き続き、県政に対する御理解・御協力をお願い申し上げます。

鹿児島県中小企業団体中央会におかれましては、中小企業者の多様で活力ある成長を実現するため、指導団体として更なる力を発揮していただくとともに、本県中小企業団体の一層の発展のために御尽力くださるよう期待しております。

年頭に当たり、鹿児島県中小企業団体中央会並びに県内各組合のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝・御活躍を心から祈念いたしますとともに、本年が皆様にとって良い年でありますように、心からお祈り申し上げます。

「もっと前へ！」
 豊かさ、実感都市・かごしまの実現のために

鹿児島市長 森 博 幸



平成25年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

鹿児島県中小企業団体中央会の皆様方におかれましては、中小企業連携組織の専門支援機関として、県内中小企業の振興と各組合の健全な発展のために、積極的かつ幅広い活動を展開され、大きな成果をあげておられますことに深く敬意を表します。

私は、先の市長選挙におきまして、鹿児島市長として、三期目の市政運営の重責を担わせていただくことになりました。

市民の皆様への負託に応えるべく、常に「市民目線」に立ち、そして、持てる力と情熱のすべてを傾注し、市政運営に邁進してまいります。

さて、我が国においては、東日本大震災からの復興をはじめ、エネルギー政策や急速に進む少子高齢化や人口減少、低迷する経済への対応など、数多くの課題が山積し、歴史的に見ても大きな転換期を迎えております。

本市におきましても、少子高齢化に伴う子育て支援や医療・福祉の充実、地域経済の振興など、様々な課題がございますが、私は、これらの課題に対して市民の皆様と一緒に知恵と創意を結集し、この難局をバネとして、市政の更なる飛躍を目指したいと考えております。

また、鹿児島市を市民の皆様が真に豊かさを実感できる都市にするため、もっと力強く、「もっと前へ」市政を進めてまいりたいと考えております。

そのため、市政の柱として、これまで取り

組んでまいりました「環境」「子育て」「観光」「教育」「協働」の、いわゆる5つの「K」に、新たに、市民の皆様にとりまして、より身近で切実な課題である、雇用・地域産業の振興を含めた「経済」、医療・福祉の充実を含めた「健康」の2つの「K」を加えた、「7K」について、重点的に取組を進めてまいります。

特に「経済」につきましては、観光・交流分野や環境分野への積極的な取組、新たな産業の創出、地元企業の競争力強化、商店街・中心市街地の活性化、企業立地の推進、地域産業の育成などを通じて、雇用の拡大や地域経済の活性化を図ります。

そして、第五次総合計画の都市像「人・まち・みどり みんなで創る“豊かさ” 実感都市・かごしま」の実現のため、市民の皆様とともに考え、ともに行動し、また、地域経済の牽引役である皆様方と緊密な連携を図りながら、市政をもっと前に進めてまいりたいと考えております。

皆様方におかれましても、会員相互の連携をさらに強められ、本市経済の持続ある発展のため、引き続きご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

鹿児島県中小企業団体中央会のますますのご発展と、新しい年が皆様方にとって未来への夢と希望の持てるすばらしい年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

年頭のご挨拶

日本銀行 鹿児島支店
支店長 家田 明



新しい年を迎えるに当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

日本経済の成長率は、高度成長期を経て、1980年代以降は趨勢的に低下しており、足許は、非常に低い水準を余儀なくされています。

日本が高度成長期に高い経済成長率を実現することができた背景の1つには、当時のわが国の経済にとって、海外の先進国に目を向けることで、見習うべき手本となる仕事のやり方、あるいはビジネスモデルを容易に見付けることができたことがあったと考えられます。手本があれば、先行きの不確実性も小さく、失敗の可能性も抑えられたわけです。

しかし、高度成長期を経て経済大国となった日本は、経済成長の最前線を走るフロントランナーになったことになり、その時点で見習うべき手本を失いました。そうすると、先行きの不確実性も従来に比べれば大きいこととなります。つまり、現在の日本で、消費者が「従来よりも高いおカネを払ってでも使いたい」と考えるモノやサービスを生み出すためには、自らが、不確実性という視界の悪さに果敢に挑んで、従来にはなかった新しい商品を作ったり、新しい市場を開拓していくこと、つまりイノベーションを起こして切り拓いていくことが必要になっています。

以下では、鹿児島経済が発展を続けるためのイノベーションを考える際の視点をあげてみます。

まず、当地では、2011年3月の九州新幹線の全線開業以降、多くの観光客が当地を訪れています。これは当地にとっては大変ありがたいことですが、長い目で見たときに、こう

した効果を持続させるためには、当地を繰り返し訪れたいくなるような当地の魅力の深化が必要になります。この点では、当地の今後の街づくりを考えていく上で、地元の人たちの視点を入れていくことが重要であると考えられます。海外を含めて、多くの観光客を引き付けている街にある魅力の1つに、地元住民がそこでの生活を心から楽しんでいて、その結果として街が賑わっていることがあると思います。つまり、街自体が地元の人たちの視点で作られているからこそ、賑わいを呼んでいることになるわけです。今後当地でもそうした観点での街づくりを一段と進めれば、より多くの観光客が持続的に当地を訪れることになるでしょう。

また、アジアの最近の経済発展に連れて、アジアの人たちの所得が上昇し、購買力も上がってきている中で、この市場の活力を上手く引き寄せることも重要です。そのためには、アジアの人たちに、当地にある様々な自然や食などの魅力を知ってもらい関心を持ってもらうことが必要です。この点では、当地の一人ひとりが、その魅力を改めて見つめ直して再発見することが鍵であると思います。当地の魅力の本質を正確に把握した上で、当地の一人ひとりがそれに関する情報を、アジアの人たちが理解できるよう様々なかたちで発信していけば、アジアの人たちにも当地の魅力は自然と認識されるのではないのでしょうか。

年頭のご挨拶

株式会社 商工組合中央金庫
鹿児島支店長 山口 治



平成25年の新春を迎えるにあたり、所感の一端を申し述べて年頭のご挨拶とさせていただきます。

まず、昨年の経済を振り返りますと、わが国の景気は東日本大震災からの復興や、タイの洪水からの挽回生産、エコカー補助金の復活などにより、春頃まで持ち直しの動きを見せました。しかしながら、その後は欧州や中国経済の減速、長引く円高などによる輸出の減少に加えて、エコカー補助金の終了といった政策による押し上げ効果の剥落といった要因等により、国内景気は厳しい状況にあり、先行きの不透明感も強くなっています。中小企業の景況については、当金庫の「中小企業月次景気観測」で見ますと、景況判断指数は平成24年3月に48.7と東日本大震災以前の水準近くまで回復するなど、一時は持ち直しの兆しが見えましたが、その後は一進一退を続けながらも緩やかに低下してきました。

このような環境のもと、商工中金は、東日本大震災からの復旧・復興に取り組む中小企業の皆さまや、円高等の影響により当面の資金繰りに不安を抱える中小企業の皆さまに対し、危機対応業務を中心に、組織をあげてセーフティネット機能の発揮に取り組みました。平成23年5月より取扱いを開始した東日本大震災復興特別貸付については、3万5千件、1兆9千億円を超え、これらを合わせた危機対応業務全体の累計実績は制度開始以降、12万2千件、7兆5千億円を超える規模となりました。こうした、中小企業の皆さまの資金繰りや経営の安定化への

サポートを通じて、地域の雇用維持・経済の安定に大きく貢献することができました。また、中小企業の皆さまの企業価値向上に向けては、成長戦略総合支援プログラムを活用するなど、全力でサポートしてまいりました。同プログラムは、昨年10月に上方修正した「3年間で5千億円の成長マネー供給」という目標に対し、累計実績で8千件、4千5百億円を超えるなど着実に成果を上げることができました。

本年も先行き不透明な金融・経済環境が続くことが予想されますが、商工中金としては、引き続き皆さまからのご相談に対して、懇切、丁寧かつ迅速な対応に努め、危機対応業務を中心にセーフティネット機能の発揮に全力を挙げて取り組んでまいります。また、お取引先の皆さまが抱える経営課題に対してはその解決に向け、質の高いソリューションを提供するなど、皆さまと一緒にこの難しい局面を克服し、ともに成長してまいりたいと思います。

「中小企業の、中小企業による、中小企業のための金融機関」として、これまで以上に皆さまから信頼され、お役に立てるよう、役職員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜われますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶といたします。

年頭に当たって

～「組合 絆 ルネサンス」の結実に向けて～

全国中小企業団体中央会
会長 鶴田 欣也



明けましておめでとうございます。

震災からの復興や成長分野への産業構造の転換が喫緊の課題となる中、我が国は昨年でもデフレからの脱却を果たすことができず、日本経済は大きな岐路に立っています。今年こそ、国の礎である中小企業が報われ、希望の光が燦々と差し込む年としたいものです。

顧みますと、全国中央会の会長に就任して4度目のお正月を迎えることとなりました。最も力を注いできたことは、大きく二つあります。一つは、①中央会の存在価値をアピールすること、もう一つは、②中央会・組合間の情報の共有化を図り、中央会の職員一人一人が生き生きと働けるようにすることです。中央会トップセミナー、中央会事務局長会議の開催、参加型の中央会指導員研修など中央会間の情報の共有化を図るため、各層ごとに幾重にも直接語らう場を設けましたが、今後とも、関係各位の積極的な参画をお願いいたします。全国中央会としても、それをしっかりと受けとめていきます。

「組合 絆 ルネサンス」の結実に向けて

衆議院解散による予算編成の遅れ等による景気減速、中小企業金融円滑化法の期限到来による資金繰りや消費税の引上げに対する不安、エネルギーの安定供給への危惧など先行きが見えない状況を何としても打開していく必要があります。

新政権には、一日も早く中小企業が再び元

気を出して頑張れるような政策展開を何よりも期待するものです。そして、全国の中小企業がどの地域においても組合等連携対策をはじめとする政策支援が受けられるようきめ細かな支援体制が採られることが必要不可欠です。

このような状況下、政府では、小規模企業施策や支援体制を抜本的に強化し、海外展開の更なる支援、下請取引の適正化、事業承継・技能承継、若手・女性層の創業等を推進することとしています。このことは、中小企業組合等中小企業団体が果たすべき役割を高めるものと考えています。

東日本大震災は、中小企業間での復興連携、今後に備えての防災連携など地域市民を巻き込んだ新たな関係性による産業再構築の契機となったのではないのでしょうか。中央会として、絆と共感の中に、そのための仕組み、風土をつくり、日本の未来の可能生を作り出していきたいものです。

この歴史的転換と言える今、中小企業組合等中小企業団体の皆様におかれましても、中小企業の発展のため共に力強く前へと邁進いただきますようお願いいたしますとともに、本年が皆様にとって、忘れられない素晴らしい年となりますよう心からご祈念申し上げます。年頭に当たってのご挨拶といたします。

今冬における節電へのご協力のお願い

日頃より節電にご協力いただき、誠にありがとうございます。

当社は、現在全ての原子力発電所が運転を停止しており、代替となる火力発電所などについて追加の燃料調達や補修時期の調整、および他電力会社からの応援融通の受電等、今冬の電力安定供給確保のため、最大限の努力を行っております。

現時点で対応可能なあらゆる供給力対策を織り込み、電力の安定供給に必要な最低限の予備率3%を何とか確保できる見通しですが、発電設備の計画外停止などを踏まえると、依然として厳しい状況です。

このため、ご不便とご迷惑をお掛けし誠に申し訳ございませんが、お客さまの生活・健康や経済活動に支障のない範囲で、今冬におきましても、節電にご協力いただきますようお願いいたします。

九州電力株式会社



平成24年12月3日(月)～平成25年3月29日(金)までの間(年末年始12/31(月)～1/4(金)を除く)の平日8時～21時において、昨年冬にお取り組みいただいた相当の節電にご協力をお願いいたします。

特に、電力需要が高くなる時間帯(8時～11時、17時～20時)では、重点的な節電へのご協力をお願いします。

家庭の節電メニュー

《エアコン》重ね着などをして、設定温度は20℃を心がけましょう。
窓には厚手のカーテンを掛けましょう。

《冷蔵庫》設定を「中」から「弱」に変えましょう。
扉を開ける時間をできるだけ減らしましょう。
食品を詰め込まないようにしましょう。

《照明》不要な照明をできるだけ消しましょう。

※エアコン・電気カーペット・電気こたつの控えすぎによる体調不良に気をつけて、それぞれのご事情のもと、無理のない範囲でご協力をお願いいたします。

〔出展：経済産業省 冬季の節電メニュー〕

節電の方法を、当社ホームページでもご紹介しています。
ご不明な点は最寄りの営業所へお問い合わせください。

九州電力

検索

www.kyuden.co.jp



知恵と知財でがんばる中小企業

中小企業が、大量生産や価格競争モデルから脱却し、高くても売れる商品・製品を生み出す価値創造ビジネスモデルに転換するためには、創意工夫とチャレンジ精神が欠かせません。

多くの中小企業が、知恵と持ち前の機動力を武器に開発した新しい技術やデザイン、ブランド等を知的財産権として保護・活用し、独自の商品やサービスを提供することにより、潜在的な需要の掘り起しや海外市場の獲得等による戦略的な事業展開を実現しています。

今回は、知的財産権の活用により活性化に取り組む中小企業の事例を紹介します。

知的財産権とは

知的財産権とは、知的な創作活動によって何かを創り出した人に対して、思索による成果・業績を認め、その表現や技術などの功績と權益を保証するために与えられる財産権のことであり、産業財産権、著作権、その他知的財産権があります。

■産業財産権

産業により生産される新しい技術やデザイン等に発生する知的財産権です。日本で法的に定められた産業財産権は次の4つがあり特許庁が所管しています。

「特許権」（発明を保護）

「実用新案権」（物品の構造、形状等に係る考案を保護）

「意匠権」（工業デザインを保護）

「商標権」（商標、信用力・ブランドを保護）

■著作権

文学・学術・芸術・音楽・プログラム等の著作物に対する知的財産権で、著作者人格権と著作権があります。

■その他知的財産権

商号権、インターネットのドメイン名、種苗の育成者権等があります。

知的財産権の保護

■産業財産権の登録

特許・実用新案・意匠・商標の産業財産権は全て特許庁の取り扱いとなっています。産業財産権制度は、新しい技術、新しいデザインやネーミングなどについて独占権を与え、模倣防止のために保護し、研究開発へのインセンティブを付与したり、取引上の信用を維持することにより、産業の健全な発展を図ることを目的にしています。これらの権利は、特許庁に出願し「登録」されることによって、一定期間、独占的に実施（使用）できる権利となります。

■著作権の付与

著作権は著作物を創作した時点で自動的に付与されます。著作権を明示するための登録を文化庁が行っています。



知的財産権の戦略的な活用により、新たなシェアの獲得や需要の掘り起しにつなげている中小企業の事例を紹介します。（特許庁：「がんばろう日本！知的財産権活用企業事例集 2012」より抜粋）



兵庫県鞆工業組合（兵庫県豊岡市） ＝確かな品質とアフターサービスでブランド化を推進する鞆組合＝

ここが
ポイント

- 地域団体商標を活用して、地場産業の地域ブランドを構築。
- 豊岡鞆ブランドにより、小売側主導から作り手側主導のものづくりに意識改革。

1. 地域ブランドを構築するため地域団体商標を活用

兵庫県豊岡地域は、柳行李から始まった千年の伝統を持つ鞆の産地である。高度成長時代には、国内生産の8割を占める地場産業として発展してきた。ここで製造される鞆は、学校用、ビジネス用等の耐久性が要求される丈夫で長持ちする品質重視の製品であることが特長である。これまでは、ほとんどの製造メーカーが自社ブランドを持たず、産地問屋を通じて販売メーカーの依頼に応じたOEM供給100%の製造を行っていた。

バブル崩壊後の中国製等の輸入品の流通により、生産高も絶頂期の1/3にまで減少した。そこで、兵庫県鞆工業組合では、平成15年度から豊岡ブランドを意識した事業の活性化に取り組みはじめた。目指すは、刃物で有名なドイツのゾーリングゲンのように、鞆といえば豊岡といわれるような地域ブランドの構築である。平成16年、地域団体商標制度の創設が発表されたことに伴い、この地域団体商標を活用しながらブランド化を推進することにした。まずは、ブランドを広めたいという意識を持った組合員が集まり、組合内に地域ブランド委員会を設置して、地域ブランドマニフェストを制定し豊岡鞆ブランドのコンセプトを決定した。更には、地域ブランド要綱や品質基準を策定するなど取り組みを重ねてきた。そして、平成18年4月の地域団体商標制度の施行と同時に「豊岡鞆」を出願（11月登録）し、地域ブランドの確立に向けてスタートを切った。

2. 認定審査で合格したものだけが豊岡鞆を名乗ることができる

豊岡鞆のブランド表示は、地域ブランドマニフェストに署名した組合員だけに許可される。組合の製品検査基準に従って、地域ブランド委員会による認定審査が行われ、ブランドコンセプトに合致した製品だけが、「豊岡鞆」として提供できるのである。この基準のクォリティは高く、申請の半数程度しか認定されない。

豊岡鞆は、品質重視のほかにトレーサビリティを明確にして、アフターサービスにも万全の体制で臨んでいる。組合が発行する豊岡鞆の保証書には、製造メーカー、認定番号が記載されており、その管理も組合が一括して行う。組合のホームページにネット登録しておけば、保証書を紛失しても大丈夫である。修理の依頼があれば、製造メーカーが鞆を分解して、もう一度組み立てるところまで対応するなど、本気度が高いアフターサービスを約束する。

これまでの製品は、豊岡鞆の表示がなく産地が見えなかったが、地域団体商標の取得により、豊岡が良品質の鞆の産地であることが知られてきた。これに伴い問屋や販売メーカーから、コーポレートブランドの他に地域ブランド「豊岡鞆」のダブルネームを表示したいという依頼が増加している。組合員でも、自社ブランドと地域ブランドのダブルネームで販売するメーカーが出始めてきた。

3. ものづくりに対する組合員の意識の変化

地域団体商標の取得後の活動として、豊岡鞆の積極的な周知活動に乗り出した。年2回の展示会や全国の百貨店等のバッグフェアで、豊岡鞆の販路を開拓する。知名度が上がるにつれて、豊岡鞆ブランドの認定審査を受けようとする組合員が増えており、展示会に参加する企業も増加傾向にある。

これまでのOEM製品は、問屋側の主導で製造が行われていたが、豊岡鞆ブランド製品は、製造メーカー主導によるものづくりが行われるようになり、販売価格も作り手側が主導権を握る流れにある。また、展示会等においてバイヤーやユーザーの意見を直接聞く機会が増えており、デザインや機能等の消費者目線に立った鞆づくりをしようと、鞆に対する組合員の認識に変化が見られる。このように、地域ブランド構築に向けた取り組みが、組合員の意識改革に大きな成果を上げている。

兵庫県鞆工業組合の活動例



▶ 「豊岡鞆」縫着織ネーム



▶ 認定審査会



▶ 第2回ファッション雑貨EXPO展示会
(東京・東京ビッグサイト)



▶ 豊岡鞆ロゴマーク

組 合 概 要

名称及び代表者	兵庫県鞆工業組合 理事長 木和田 智成		
所在地	兵庫県豊岡市大磯町1-79		
出 資 金	825万円	組 合 員 数	55社
事 業 内 容	マーケット開拓事業、商品開発事業、福利・親睦交流会の実施		
U R L	http://www.toyooka-kaban.jp/		

事例2

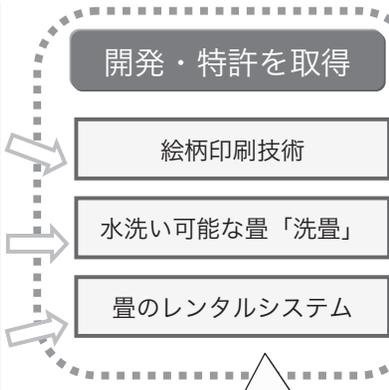
(株)小田豊商会（鹿児島県）
従来の畳の概念を打ち破る洗える畳の開発でマーケットを創出

ここがポイント

- 厚生労働省認定の「現代の名工」の技を持つ老舗の畳屋が、業界の常識を打ち破る新しい畳を開発。
- 「絵柄印刷技術」「水洗い可能な畳（洗畳）」「畳のレンタルシステム」で特許を取得。
- 3つの特許を融合化させた新たなビジネスモデルを構築し、マーケットを創出。売上の半分以上に成長。

【開発ニーズをつかむ】

- 畳の需要の減少に歯止めをかけるため、絨毯のように畳をデザインすることができないか。
- 集中豪雨による水害を経験して、水に強く軽い畳が開発できないか。
- 介護施設では、畳に介護者特有のにおいや汚れが染みついて、清掃等の課題を抱えている。



【洗畳のメンテナンス付きレンタルサービス】

- ◆畳の新しいライフスタイルを提案。
- 温泉旅館・ホテルの浴室、介護施設に導入。
- メンテナンス付きレンタルサービスで、従業員の清掃等の負担を軽減。
- 4か月ごとにデザインを変えることで季節感を表現。



【新たなビジネスモデルの構築】

- 三つの異なる畳の特許を融合化して誕生させた「洗畳」のレンタルシステムを構築。
- 創出したマーケットを特許で保護。

(株)小田豊商会
 資本金：1,800万円
 従業員：14名
 事業内容：畳・畳関連製品の開発製造、販売

事例3

(株)坂戸工作所（千葉県）
SRC用解体機を開発し、我が国の建造物解体市場をリード

ここがポイント

- 我が国特有の耐震性建造物である鉄骨鉄筋コンクリート構造物（SRC）用の解体機を開発。
- これまでの名工が築き上げた匠の職人技を解体機に応用し、百件以上の特許を取得。
- 東日本大震災の被災地において、津波で流失した船舶や重油タンクの解体作業に大きく貢献。

【開発のヒントは従来技術の見直しにある】

- 従来の職人技を分析し解体機の用途に応用→新たな技術の誕生。
- 従来の職人技をヒントにして取得した特許は国内外で百件以上。
- 開発のヒントはどこにでもある。そのヒントを常に気をつけて探ることが重要。

【業をすりつぶす薬研（やげん）】



- 江戸時代の薬研をヒントにして、解体機の破碎刃に応用。小さな力で大きく壊す技術を開発。→業界で圧倒的な強みを発揮。



【同社のSRC用解体機】

- 破碎性能と切断性能を兼ね備えることにより、従来の工法の手間とコストを大幅に削減。



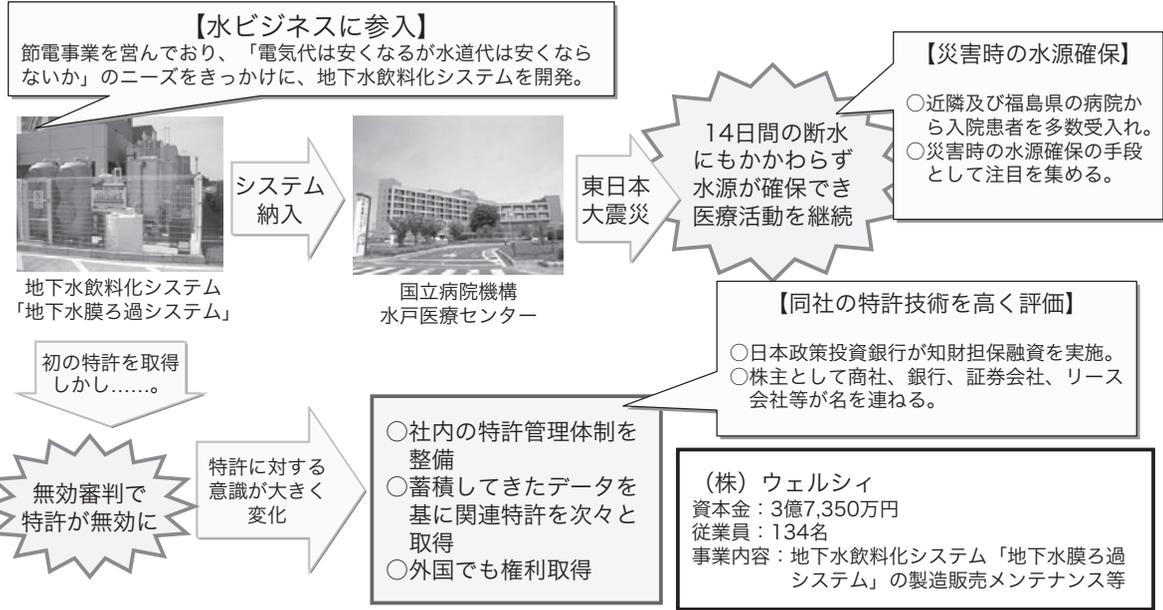
(株)坂戸工作所
 資本金：5,720万円
 従業員：30名
 事業内容：建築物解体機の開発及び製造

事例4

(株)ウェルシィ (東京都)
地下水膜ろ過システムを開発し、災害時の水源確保に貢献

ここがポイント

- 市場競争がない水ビジネスに参入し、地下水飲料化システム「地下水膜ろ過システム」を開発。
- 最初の特許が無効審判で無効。これを機会に特許の意識が大きく変化。その後次々と関連特許を取得。
- 同社の特許技術が高く評価され、政府系金融機関による融資。商社・銀行等による投融資。

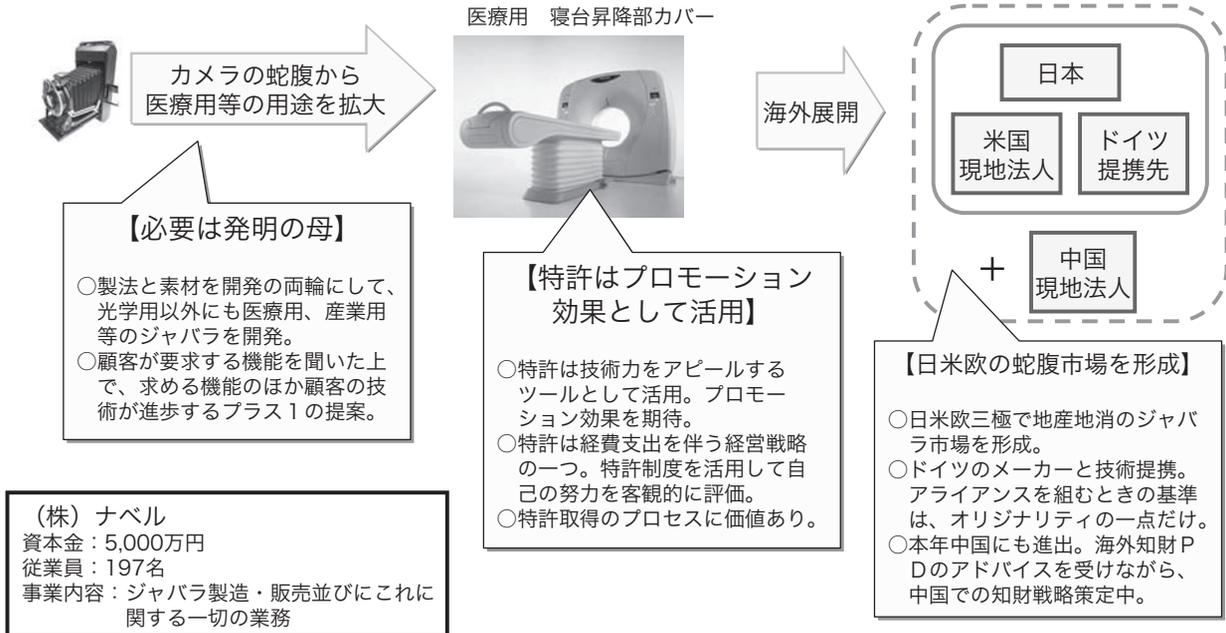


事例5

(株)ナベル (三重県)
顧客の問題点を直視した技術開発により、各分野の製品で高いシェアを獲得

ここがポイント

- 顧客の問題点を直視したジャバラの製品開発で、独創的な商品を提案。
- 特許はプロモーション効果として活用し、オリジナリティがある企業であることをアピール。
- 自社の課題が解決できる海外メーカーと技術提携し、WIN-WINの関係を構築。



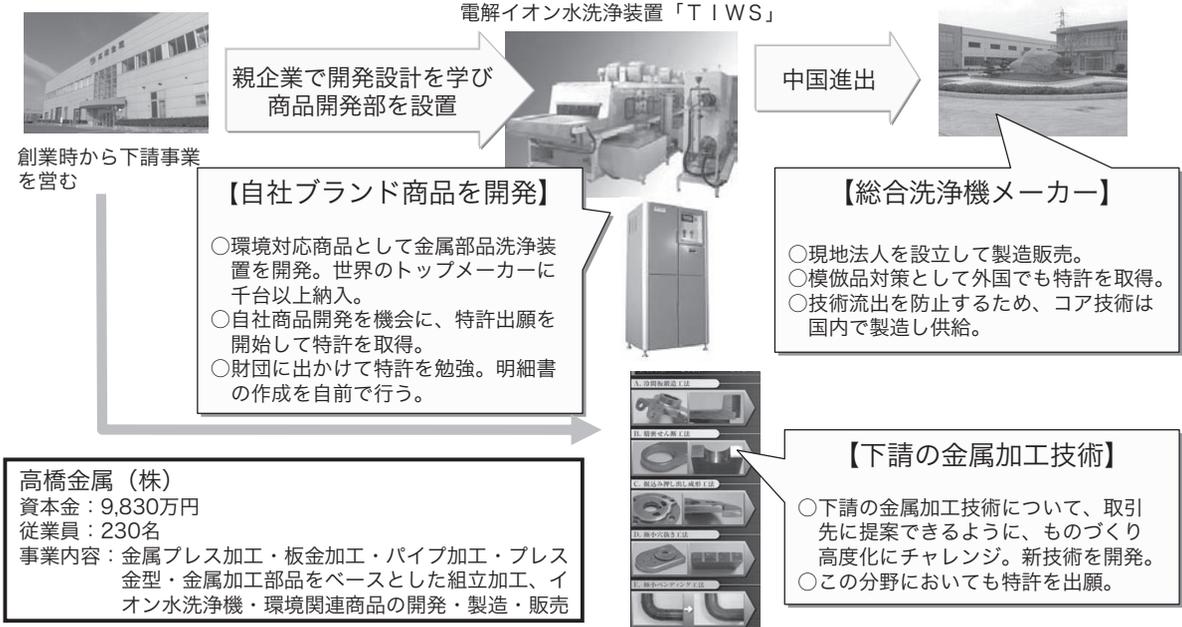
事例6

高橋金属(株) (滋賀県)

下請事業の一方で、独自の環境対応商品を開発し中国に進出

ここがポイント

- 下請企業が親企業から開発設計を学び、自社ブランド商品を開発。併せて特許を初めて取得。
- 自社ブランド商品は中国にも現地法人を設立。技術流出を防止するためコア技術は国内から供給。
- 下請事業についても、ものづくり高度化に取り組み、提案型のものづくりに転換し特許も出願。



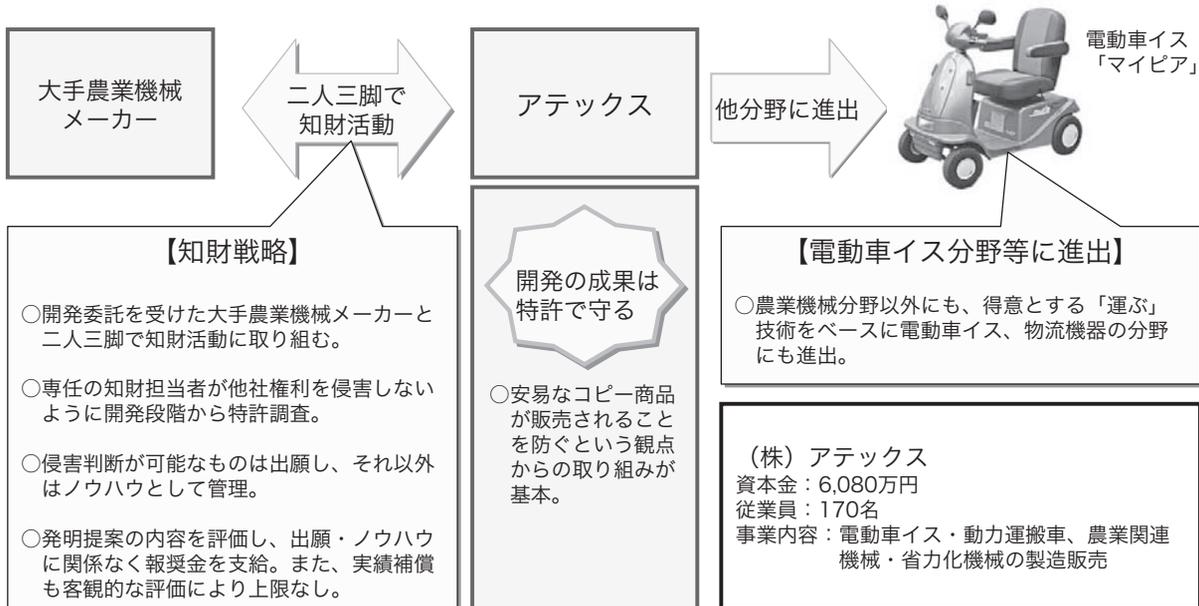
事例7

(株)アテックス (愛媛県)

大手メーカーと二人三脚で取り組んできた知財活動

ここがポイント

- 大手農業機械メーカーと二人三脚で知財活動に取り組んでおり、専任の知財担当を配置。
- 商品を世の中に出して侵害判断が可能なものは特許出願し、それ以外はノウハウとして管理。
- 農業機械で培った「運ぶ」技術をベースにして、介護分野や物流機器の分野にも進出。

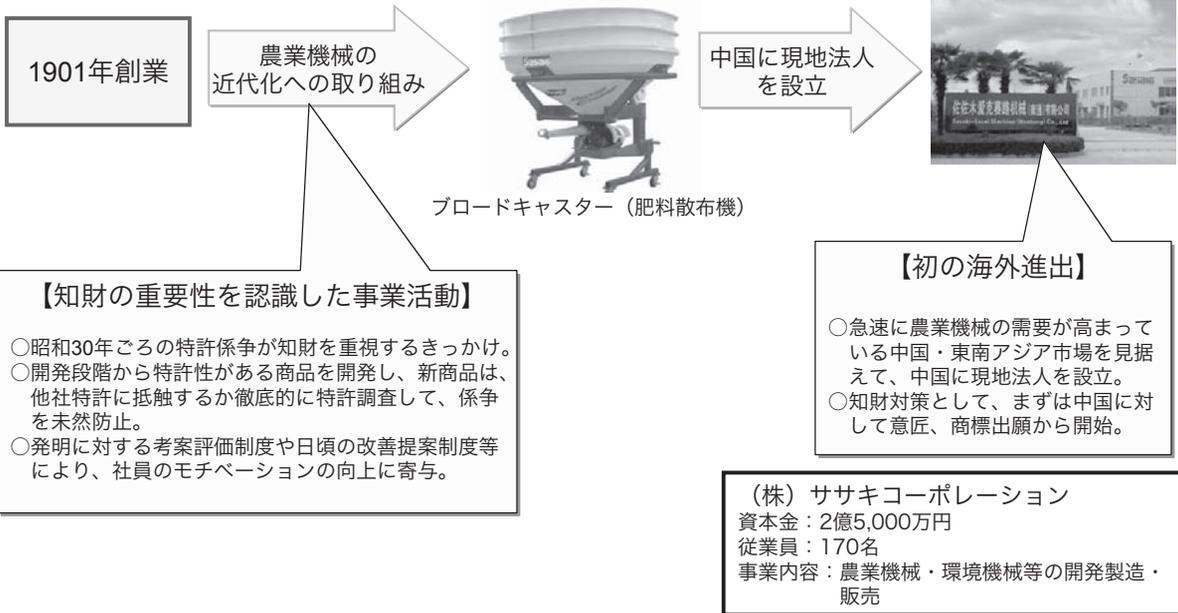


事例8

(株)ササキコーポレーション（青森県）
農業機械の近代化に取り組んできた老舗のメーカーが初の海外進出

ここが
ポイント

- 1世紀以上にわたり農機具や農業機械の近代化に取り組み、併せて知財を重視した経営戦略を展開。
- 徹底した特許調査により他社特許の抵触を回避するとともに、特許性があるものを開発。
- 急速に農業機械の需要が高まる中国・東南アジアの市場を目指して中国に進出し、意匠・商標を出願。



【お問い合わせ】

- 特許庁又は知財総合支援窓口までお問い合わせください。
- ◇特許庁ホームページでは、知的財産支援に関する最新情報を提供しています。
 - ・特許庁ホームページ <http://www.jpo.go.jp/indexj.htm>
 - ◇中小企業等の知的財産支援の拠点として全国56か所に「知財総合支援窓口」が設置されています。
 - ・知財総合支援窓口ホームページ <http://chizai-portal.jp/index.html>
 - ・県内の知財総合支援窓口（一般社団法人鹿児島県発明協会：鹿児島県工業技術センター内）
<http://kagoshima-jiii.or.jp/shien/>
 - ◇「がんばろう日本！知的財産権活用企業事例集2012」に掲載された事例がダウンロードできます。
http://www.jpo.go.jp/cgi/link.cgi?url=/torikumi/chushou/kigyuu_jirei2012.htm

きょうの出口。
あしたの入口。

飲酒は20歳を過ぎてから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に影響を与えるおそれがあります。

明るい黒。

黒伊佐錦
ISANISHIKI

薩摩焼酎

大口酒造株式会社
 鹿児島県伊佐市大口原田643番地
www.isanishiki.com
 ヘロークロイツ
 ☎ 0120-86-9613



中央会年始会を開催



1月7日、鹿児島市の「鹿児島サンロイヤルホテル」で、中央会会員、来賓及び関係者による恒例の中央会年始会を開催した。

最初に「国歌」及び「中小企業団体の歌」を斉唱した後、昨年制定した「中央会理念」を秋元耕一郎副会長と共に出席者全員で唱和し、続いて小正芳史会長が年頭挨拶を行った。

小正会長は、「日本経済は、年末から円安や株価の上昇傾向が続くなど、経済回復の明るい兆しが見え、期待感が高まっている。新政権には、デフレ脱却を最優先課題とし、大型の補正予算と来年度予算の早期成立を図り、本格的な景気回復に向けて、これまで以上の経済対策が実施されることを切望する。

本県経済では、新幹線を軸に観光などの効果を最大限に地域経済の活力向上に活かしていくことが肝要である。また、昨年制定された『中小企業の振興に関する鹿児島県民条例』の趣旨にそった、中小企業振興の支援策が推進されることを期待する。

中央会は『組合と共に明日を拓く中央会』をスローガンに『組合を通じた中小企業の活性化』を推進し、本県経済の振興に全力で取り組んでいく。中小企業が団結と組織の力で難局を乗り越え、新しい年が未来に向かう飛躍の年となることを心より願っている。」と述べた。

この後、伊藤祐一郎鹿児島県知事（代読）、金子万寿夫鹿児島県議会議員、森博幸鹿児島市長、諏訪秀治鹿児島県商工会議所連合会会長が来賓祝辞を述べた後、家田明日本銀行鹿児島支店長の乾杯の発声により開宴となった。地元選出の国会議員が祝辞を述べた後、山口治商工中金鹿児島支店長による万歳三唱が行われ、年始会は盛会のうちに終了した。



年頭挨拶を述べる小正会長



中央会理念を唱和する秋元副会長

岩田名誉会長県民表彰受賞祝賀会を開催

中央会名誉会長の県民表彰受賞祝賀会が開催された。
 岩田泰一氏は、平成18年から3期6年に亘り中央会会長を務め、県下中小企業団体のリーダーとして本県経済界をけん引してきた。また、鹿児島県菓子工業組合理事長として、本県菓子業界の発展に貢献し、鹿児島県浄水事業協同組合及び鹿児島食品団地協同組合理事長として食品製造業界の経営の合理化・安定化に寄与するなど、本県経済の発展に多大な貢献を果たした。



祝賀会には、多くの関係者がお祝いに駆けつけ、伊藤祐一郎鹿児島県知事、金子万寿夫鹿児島県議会議長が来賓祝辞を述べた後、比良田輝明鹿児島県菓子工業組合副理事長が記念品を贈呈し、諏訪秀治鹿児島県商工会議所連合会会長の乾杯の発声により開宴となった。終始和やかな雰囲気の中、最後に有村興一鹿児島県浄水事業協同組合専務理事による万歳三唱が行われ、祝賀会は盛会のうちに終了した。

児童養護施設の子供たちに自転車を贈呈 中央会青年部会《ボランティア事業》

鹿児島県中小企業団体中央会青年部会（梶井健一郎会長、27会員）は、12月21日、曾於市末吉町の社会福祉法人 白鳥会 慈光園（白鳥浄子園長）へ自転車3台を贈呈した。

中央会青年部会は、県下の組合青年部で組織された団体で、各業界の青年経営者の育成と交流を目的に各種研修会や交流会等を行っている。内部活動にとどまらず社会貢献活動も行っていきたいとの思いから、特別支援学校や児童養護施設の子どもたちの勉学・活動に役立ててもらうため、毎年、学用品等を贈呈している。

このボランティア活動は平成6年から始め、今回で19回目となる。青年部会会員のチャリティ募金や事業の収益金を充てて実施されている。

贈呈に当たった有川裕幸理事（鹿児島県建設業青年部会長）は、「この活動が子どもたちの勉学に役立ててもらえることを願って、続けております。寒い日が続きますが、体調には気をつけて、勉強や運動に頑張ってください。」とエールを贈った。





設立20周年記念式典を開催 ～宇宿商店街振興組合～

12月14日、鹿児島市の宇宿商店街振興組合（河井達志理事長）が、組合設立20周年記念式典を開催した。

同振興組合は、販売促進、街路灯等の施設維持管理、まちなかの駅宇宿や商店街 Show-1 グルメグランプリの運営等、商店街活性化のため様々な事業を実施し、組合員の繁栄及び地域振興に貢献してきた。

式典には多くの関係者が集い、本会を始め鹿児島県知事、鹿児島市長、鹿児島商工会議所会頭より祝辞（一部代読）が寄せられ、地域に根付いた活動を行ってきた同振興組合の節目を祝った。また、商店街発展に貢献した功労者に感謝状が贈られた。

河井理事長は「宇宿地区は大型店が多く、中小事業者を取り巻く経営環境は厳しいが、20周年を機に関係者との連携を深め、地域の皆様との密着度を更に増すことで、組合員の経営支援と地域振興に寄与していきたい。」と今後に向けた意気込みを述べた。

式典終了後は、恒例となった宇宿大忘年会が開催され、多くの地域住民も参加し、よさこい踊りや大抽選会等、大いに盛り上がった。



挨拶する河井理事長



祝辞を述べる下園中央会副会長

先進の車体整備に対応する技術講習会を実施 ～鹿児島県自動車車体整備協同組合～

12月2日、鹿児島県自動車車体整備協同組合（有村則男理事長）が、環境対応、技術・創造講習会を開催した。

同組合は自動車車体の整備を行う事業者で組織されており、これまでも教育情報提供事業を活用した技術の向上や人材育成に積極的に取り組んできた。

昨今、プラグインハイブリッド車や電気自動車等のエコカーが増えており、これらの車体は新構造や新素材が使用されているため、これに対応した技術が不可欠となっていることから講習会を実施した。

参加者は、座学と実技によりアルミ合板の下地塗装等について知識と技術の習得に熱心に取り組んだ。



第23回薩摩焼フェスタを開催 ～鹿児島県陶業協同組合～

12月5日から9日までの5日間、鹿児島県陶業協同組合（西郷隆文理事長）が、かごしま県民交流センターで「第23回薩摩焼フェスタ」を開催した。県内41の窯元が出展し、約1万点を超える薩摩焼の展示・即売を行った。

今回のテーマは「器を贈る」で、様々なコンセプトによる「薩摩焼でおもてなし」を提案した。

各窯元の推奨品の展示やラッピング教室、絵付けの実演、薩摩焼子供陶芸作品展、チャリティオークション、お楽しみ抽選会等盛りだくさんのイベントが行われた。

また、鹿児島県菓子工業組合との連携による「かるかんの似合う小皿展」が開催され、様々な形・色の小皿とかるかんの組み合わせを展示し、鹿児島の「食の魅力」と「伝統工芸品の魅力」の相乗効果による新たな地産地消の可能性を提案した。

来場者は、本県を代表する伝統的工芸品「薩摩焼」の良さに触れ、その魅力に魅せられていた。

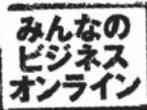
鹿児島県陶業(協)HP <http://www5.synapse.ne.jp/satsumayaki/>



かるかんの似合う小皿



おもてなしの提案例



ホームページ開設で“活性化”を図りませんか！ ～IT活用研修のご案内～

◆中央会では簡単・無料で始められるホームページの開設と運用方法について、下記のとおり研修会を開催いたします。奮ってご応募ください。（定員8名：詳細は本会ホームページ参照）

地区	日程	時間	会場	締切
鹿児島市	平成25年2月19日（火）	13:30～16:30	中央会会議室	2月12日
川薩地区	平成25年2月27日（水）	13:30～16:30	川内商工会議所	2月20日
大隅地区	平成25年3月12日（火）	13:30～16:30	鹿屋商工会議所	3月5日

※上記以外にも組合単位での研修、個別相談にも応じますので、お気軽にお問い合わせ下さい。
【お問い合わせ】中央会組織振興課 099-222-9258 info@satsuma.or.jp



近畿日本ツーリスト九州

鹿児島支店 支店長 南部勝也

〒892-0828

鹿児島市金生町4-10 アーバンスクエアビル3F

TEL: 099 (223) 3205

FAX: 099 (239) 8159



近代化を誇る全国屈指の流通拠点



理事長 小正 芳史



副理事長 美坂 幸二



副理事長 三角 征四郎

鹿児島市内に駐車場300台を有する多目的ホール



オロシティーホール
(卸団地組合会館)



鹿児島総合卸商業団地協同組合

〒891-0123 鹿児島市卸本町6番地12
TEL 099-260-2111 FAX 099-260-2109
IP電話 050-3541-4639 (OCN)
URL <http://www.orocity.or.jp/>





一般社団法人 鹿児島県LPガス協会

会長 秋元 耕一郎

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町5番6号

TEL**099-250-2535**

FAX**099-250-2534**

南九州産業団地協同組合

代表理事 下園 廣一

組合員一同

〒891-0131 鹿児島市谷山港二丁目2番地8

TEL 099-261-0733

FAX 099-261-0739

鹿児島県遊技業協同組合

理事長 西川 明寛

組合員一同

〒892-0838 鹿児島市新屋敷町12番5号

TEL 099-223-7973

FAX 099-227-1553



鹿児島県印刷工業組合

組
合
員
一
同



副理事長
前田 幸一



理事長
岩重 昌勝



副理事長
益山 正義



副理事長
岡崎 洋人

〒892-0847 鹿児島市西千石町12-27 TEL099-222-1839 FAX099-223-1463 URL <http://www.kapia.jp>



新春のお慶びを申し上げます



鹿児島県農業機械商業協同組合

理事長 田中俊實
組合員一同

〒899-6405 霧島市溝辺町崎森973-1
TEL 0995-58-4713
FAX 0995-40-2142

鹿児島県運送事業協同組合連合会

代表理事 大迫秀夫
組合員一同

〒891-0131 鹿児島市谷山港二丁目4番15号
TEL 099-262-0225
FAX 099-262-2365



Kagoshima Doctor Cooperative Association

鹿児島県医師協同組合

鹿児島県勤務医師生活協同組合
有限会社 鹿児島医協

〒890-0053 鹿児島市中央町8-1
TEL 099-254-8126 FAX 099-257-1816
E-Mail iky@kagoshima.med.or.jp
ホームページ：<http://www.kagoshima.med.or.jp/kyoudou/>

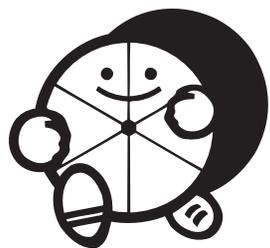
鹿児島県経済事業協同組合

理事長 小正芳史
組合員一同

〒892-0821 鹿児島市名山町9番1号
TEL 099-223-8352
FAX 099-225-2904



新春のお慶びを申し上げます



あかぼう

引越と急送品 荷物のことなら
赤帽鹿児島県軽自動車運送協同組合

理事長 永徳悦子・組合員一同

〒890-0034 鹿児島市田上1丁目8-2 TEL.099-257-0090 FAX.099-254-4110
HP <http://kagoshima.akabou.jp/> e-mail kagoshima@akabou.jp
赤帽鹿児島県本部 共同配車センター ☎0120-400-111

シブヤ農業生産加工協同組合

理事長 澁谷雄彦
組合員一同

〒893-1601 鹿児島県鹿屋市串良町細山田3403番地
TEL 0994-62-3833
FAX 0994-62-3834

謹賀新年

名瀬港港湾運送事業協同組合

理事長 里見弘壽
組合員一同

〒894-0035 鹿児島県奄美市名瀬塩浜町17番5号
電話・FAX：0997-52-0088



協業
組合

薩南浄水管理センター

理事長 内木場 盛
組合員一同

〒891-0404 鹿児島県指宿市東方字本村西10473番地3
電話 指宿 (0993) (代)25110
FAX (0993) 22846



エコアクション21
認証・登録番号0000572



総合物流協同組合

代表理事 山根 英司
専務理事 久木留 寛
組合員一同

東日本地区本部 〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-1-7 ミツワマンション1001号 TEL 03-3462-2060 FAX 03-3462-2061
西日本地区本部 〒890-0052 鹿児島市上之園町24番2号第12川北ビル TEL 099-285-1400 FAX 099-285-1402
URL <http://www.ksb-kumiai.com/> E-mail info@ksb-kumiai.com

国産材原木丸太・製材製品

なんでも揃う木材市場

鹿児島県木材銘木市場協同組合
理事長 柴立 鉄彦

〒891-0115 鹿児島県鹿児島市東開町3番地35号
TEL : 099-268-5131
FAX : 099-268-5210
Eメール : meiboku@po5.synapse.ne.jp

鹿児島市中央卸売市場青果食品協同組合

理事長 南省 治
組合員一同

〒891-0115 鹿児島市東開町11番地1
TEL 099-267-3822
FAX 099-267-4097



鹿児島自動車工業協同組合

代表理事 羽仁 正次郎
組合員一同

〒891-0131 鹿児島市谷山港二丁目4番地5
TEL 099-262-0255
FAX 099-262-0244

新春のお慶びを申し上げます



コミュニティバンク
こうしん
鹿児島興業信用組合

鹿児島市東千石町17番11号
TEL (099)224-3175
FAX (099)239-0365
ホームページ <http://www.ka-kousin.co.jp>



鹿児島信用金庫



理事長 後藤孝行
役員一同

〒892-8586 鹿児島市名山町1番23号
TEL 099-223-0141
FAX 099-222-8296



代表取締役 松岡道雄
従業員一同

〒892-0845 鹿児島市樋之口町8番2号
TEL 099-223-1111 (代表)
FAX 099-227-2206



公立学校共済組合鹿児島宿泊所 「ホテル ウェルビューかごしま」

支配人 園田穂積
職員一同

〒890-0062 鹿児島市与次郎二丁目4番25号
TEL 099-206-3838 FAX 099-206-5069



新春のお慶びを申し上げます

協同組合鹿児島ウツディホームビルダー協会

理事長 下 津 春 美
組 合 員 一 同

〒891-0115 鹿児島市東開町13番地30
TEL 099-269-7113
FAX 099-268-0385

鹿児島県旅行業協同組合

理事長 中 間 幹 夫
他組合員一同

〒892-0816 鹿児島市山下町17-5
TEL 099-225-8901
FAX 099-225-8761

鹿児島県菓子工業組合

「鹿児島名産かるかん」
地域団体商標登録準備中

理事長 岩 田 泰 一
組 合 員 一 同

〒892-0841 鹿児島市照国町14番13号
TEL 099-222-2578
FAX 099-227-0485

鹿児島機械金属工業団地協同組合

理事長 丸 元 正 樹
副理事長 丸 山 聡
副理事長 山 下 健 次

〒890-0073 鹿児島市宇宿2丁目5番4号
TEL 099-254-3161 FAX 099-254-3163

鹿児島建設業協同組合

理事長 川 畑 俊 彦
組 合 員 一 同

〒890-8512 鹿児島市鴨池新町6番10号
TEL 099-256-5088
FAX 099-256-5692

鹿児島県パン工業協同組合

理事長 木 元 繁
副理事長 有 村 眞 人
副理事長 山 崎 昇 平
専務理事 井 上 正 信
組 合 員 一 同

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町14-3
TEL 099-253-9211
FAX 099-253-9249



鹿児島県コンクリート製品協同組合

理事長 松崎 秀雄
組合員 一同

〒890-0062 鹿児島市与次郎2丁目7番25号
TEL 099-255-2511
FAX 099-259-2840

本場大島紬織物協同組合

理事長 窪田 茂
組合員 一同

〒890-0072 鹿児島市新栄町18番6号
TEL 099-254-1185
FAX 099-254-1188

薩摩川内市管工事業協同組合

理事長 上野 耕作
組合員 一同

〒895-0012 薩摩川内市平佐町3913番地1
TEL 0996-23-4806
FAX 0996-23-4850

官公需適格組合

鹿児島県建築設計監理事業協同組合

理事長 武田 敏郎
組合員 一同

〒890-0055 鹿児島市上荒田町29番33
TEL 099-298-1835
FAX 099-298-1836

本格焼酎事業協同組合

理事長 本坊 松美
組合員 一同

〒890-0055 鹿児島市上荒田町29番18号
TEL 099-285-0303
FAX 099-285-0202

協同組合 鹿児島県高圧ガス 保安検査・指導センター

理事長 上村 眞一

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町5番6号
TEL 099-250-2535 FAX 099-250-2534



鹿児島県蒲鉾協同組合

理事長 有村 興一
組合員 一同

〒892-0835 鹿児島市城南町37番地2
TEL / FAX 099-222-0297

始良プロパンガス販売協同組合

理事長 倉内 達哉
組合員 一同

〒899-5421 始良市東餅田3847番地28
TEL 0995-65-8887
FAX 0995-65-0930



鹿児島生コンクリート協同組合
 鹿児島市上之園町24-2第12川北ビル601 TEL 099-255-2672

(鹿児島支部) 南国生コンクリート(株) 北薩生コンクリート(株)
 土佐屋生コンクリート(株) (株)ガイアテック 加根又レミコン(株)
 日研マテリアル(株) 鹿児島菱光コンクリート(株) 鹿児島味岡生コンクリート(株)
 喜入生コン(株) ケイエスプラント(株) 薩摩コンクリート(株)
 南州コンクリート工業(株) 平田コンクリート工業(株)
 (中薩支部) (株) 中馬 (株)直木生コンクリート工場
 (株)サン・エイ 日新コンクリート工業(株) (株) 中薩
 南国ガイアレミコン(株)

協同組合寿協力会

理事長 諸 麦 和 清
 組合員一同

〒896-0035 鹿児島県いちき串木野市新生町181番地
 TEL 0996-24-1234
 FAX 0996-32-4597

官公需適格組合

**鹿児島県測量設計
 コンサルタント協同組合**

理事長 上 山 秀 満
 組合員一同

〒890-0066 鹿児島市真砂町48番1号
 TEL 099-253-9354
 FAX 099-258-6633

奄美大島自動車整備工業協同組合

理事長 小 野 隆 三
 組合員一同

〒894-0007 奄美市名瀬和光町12番地2
 TEL 0997(52)1496代
 FAX 0997(53)8520

鹿児島県砂利協同組合連合会

会長 島 田 静 雄
 副会長 吉 永 光 行
 組合員一同

〒891-0131 鹿児島市谷山港2丁目21番

TEL 099-210-8133
 FAX 099-210-8101

登録調査機関(一般用電気工作物調査業務)

鹿児島県電気工事業工業組合
 (鹿児島県電気安全サービス)

理事長 寺 田 実 三
 組合員一同

電気事業法に基づく登録調査機関として、九州電力の委託を受け、「一般ご家庭等の電気設備」の安全調査を行っています。

〒890-0062 鹿児島市与次郎一丁目3番11号
 TEL 099-255-5507
 FAX 099-255-5549

鹿児島県石材鋳業協同組合

理事長 福 村 秀 美
 組合員一同

〒898-0087 薩摩川内市樋脇町塔之原11615
 TEL 0996-37-3030
 FAX 0996-37-2556

鹿児島県茶商業協同組合

理事長 下堂 蘭 豊
 組合員一同

〒891-0122 鹿児島市南栄三丁目11番地28
 TEL 099-268-6181・FAX 099-260-2332



新春のお慶びを申し上げます



鹿児島県板金塗装工業協同組合

理事長 森 口 清 水
組合員一同

〒890-0034 鹿児島市田上8丁目13-6
TEL 099-281-4700
FAX 099-281-4709

鹿児島県石油販売業協同組合 鹿児島県石油商業組合

理事長 坪久田 正 明

副理事長 永田 致唯・安達 洋彦・矢島 壮
上村俊一郎・恒森 孝雄・米丸 良行

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町5番19号
TEL 099-257-2822

官公需適格組合 〔事務所移転、住居等の引越、トラック輸送
を専門としています。お問い合わせは当組合へ〕

鹿児島共同配車センター事業協同組合

理事長 里 村 定 夫
組合員一同

〒891-0131 鹿児島市谷山港三丁目1-5
TEL 099-261-3341
FAX 099-262-1316
E-mail:kakyohai@helen.ocn.ne.jp

鹿児島県生コンクリート工業組合 鹿児島県生コンクリート協同組合連合会

理事長・会長 江 夏 洋
組合員一同

〒890-0052 鹿児島市上之園町24番2
TEL 099-254-1560
FAX 099-258-4730

あけまして
おめでとうございます

奄美信用組合

理事長 安 忠 雄

〒894-0025 奄美市名瀬幸町6番5号
TEL 0997-52-7111
FAX 0997-53-5211



鹿児島県砕石協同組合連合会

(社) 日本砕石協会鹿児島県支部
鉱業労働災害防止協会砕石鹿児島県支部

会 長 中 馬 浩
副会長 萩原 眞澄・中田 博基

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町21-1町田ビル205号
TEL 099-255-2311
FAX 099-255-2317

価値が分かるあなたへ・・・
ほんの少しだけの贅沢をしてみませんか。



ホテル・レクストン鹿児島
◎夜間リムジン(24時間)から歩いて4分
鹿児島市山之口町4-20 TEL.099-222-0505
<http://nisikawa.net/lexton/>

新春のお慶びを申し上げます



お引っ越しなら、ハトのマークへ

全国引越専門協同組合連合会加盟

鹿児島県引越専門協同組合

こちらハトのマークのひっこし専門です……
☎ダイヤルは下の、お近くのセンターへ……

本部センター	☎099(255)	— 7 1 3 0	
鹿児島中央センター	☎099(281)		ひ く こ し 1 9 5 4
那覇中央センター	☎098(864)		
沖縄浦添センター	☎098(897)		
宮崎中央センター	☎0985(75)		

協同組合鹿児島県鉄構工業会

理事長 福 留 進
組合員 一 同

〒890-0073 鹿児島市宇宿二丁目5番4号
TEL 099-256-1460
FAX 099-256-7993

クルマ買うなら
安心と信頼の **JUショップ**



JU 鹿児島
鹿児島県中古自動車販売商工組合

理事長 北 園 幸 二
組合員一同

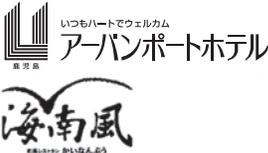
〒899-5203 始良市加治木町小山田字五本松754
TEL.0995-62-0757 FAX.0995-62-2743

中央地区商店街振興組合連合会

代表理事 俣 野 公 宏
組合員 一 同

〒892-0827 鹿児島市中町 3-10
日専連ビル 71 号
TEL 099-225-8047 FAX 099-210-7134

あけましておめでとうございます




ご宿泊、各種会議・宴会等のご予約などお気軽にお問い合わせくださいませ。

〒892-0817 鹿児島市小川町15-1 (ニシムタ北ふ頭店 目の前)
TEL : 099-239-4111 FAX : 099-239-4112
http://u-hotel.co.jp
駐車場完備●480台収容 (ご利用の方無料)

各流いけばな材料専門店

た な か か い か え ん

(有)田中皆花園

〒892-0816 鹿児島市山下町 9-30 (市役所横)
TEL (099)226-5358~9 FAX (099)223-4830

◆全国・遠くのお知り合いの方にも配達いたします。

UVカラスポットニスで
効果バツグンの仕上がり!!

企画 制作 印刷 出版

株式会社 **イースト朝日**

〒891-0122 鹿児島市南栄3丁目30-7
TEL.099-266-5522 FAX.099-266-5523
http://eastasahi.com






業界情報（平成 24 年 11 月情報連絡員報告）

製造業

味噌醤油製造業

11 月半ば頃から朝夕を中心に冬の寒い寒さになるにつれ、みそ・しょうゆの動きが幾分良くなってきた。ただ、原料、資材等の価格は依然として高いままで経営状況の厳しさに変わりはない。このまま冬の寒い寒さが続き、年末需要が好調を維持できることを期待したい。

酒類製造業

(平成 24 年 10 月分データ)

(単位 kl・%)

区 分	H23. 10	H24. 10	前年同月比	
製成数量	25,399.3	28,026.0	110.3	
移出数量	県内課税	4,742.9	4,979.5	105.0
	県外課税	6,347.0	6,311.4	99.4
	県外未納税	4,312.0	3,979.1	92.3
在庫数量	234,016.6	212,111.9	90.6	

漬物製造業

日々厳しくなる。咀嚼人口が激減していると思われる。

蒲鉾製造業

秋の旅行シーズンとなったが、不況のせいか観光客の減少などで売上が悪かった（特にお土産用）。全体で対前年同月比 8% のダウンとなった。また、原材料についてはキロあたりで対前年同月比 20 円位の値上となった。

鯉節製造業

昨年は原料の高止まり状態が続いたが、今年は昨年より生値が少し安くなりつつある。しかし、原料が高い時の製品在庫があるため、製品価格が非常に厳しい状況である。また、さば節については原料の入荷が少なくなってきた。業界はますます厳しくなりつつある。

菓子製造業

11 月 7 日に「かごしまお菓子コンクール」を実施し、この機会に新商品開発や自社商品のリニューアル等に頑張っており取り組んだ業者が多かった。菓子業界全体の浮揚につながってほしい。

茶製造業

秋冬番茶の取引価格が上昇したが、当組合の売上実績は 1 億 2,000 万円に対前年同月比 68.1% の売上となった。

大島紬織物製造業（鹿児島地区）

11 月は歴代クイーン 17 名がおはら祭り（3 日）に参加した。また、指宿白水館「薩摩伝承館」にて大島紬展（9 日～11 日）、組合にて大島紬着付け教室（13 日）を開催、鹿児島女子高にて伝統工芸教育事業（29 日）を実施した。着付け教室は、来年 3 月まで延べ 10 回の開催を予定している。

本場大島紬織物製造業（奄美地区）

平成 24 年 11 月検査反数 529 反。対前年同月比 83.0%（637 反）。

木材・木製品製造業

後倒しの秋需は喜びも束の間で、丸太価格が下落

に転じたと同時に製品市況にも減速傾向が際立ってきた。

平成 25 年度予算「新仕分け」で林野庁関係 5 事業予算が厳しく見直されるなど揺れ動いている。12 月の総選挙結果によってどのように動くのか予断を許さない局面を迎える。

木材・木製品製造業

最近の製品の荷動きは順調で、製品の種類によっては引き合いもあり、良好な状況にあるようだ。ただ、今後は政情の不安もあり先行き不透明感があることから、資材調達には慎重姿勢が見られ、荷動きがあるわりには価格は横ばい状態である。また、今年始まった「地域型住宅ブランド化事業」などの仕事を多数抱えるところは忙しいものの、一般の工務店は受注が増えていないため仕入姿勢はより慎重さを増しているとも聞く。今後、消費税の前倒しや低金利政策等の追い風で受注が増えていく事を期待したい。

生コンクリート製造業

出荷量は対前年同月比 106.0% の 178,605 立米で、特に減少した地域は、串木野、宮之城、出水、種子島、屋久島、奄美大島、甌島。特に増加した地域は、鹿児島、加世田、川薩、始良伊佐、垂水桜島、大隅、南隅、奄美南部、沖永良部であった。官公需は対前年同月比 109.3% の 107,552 立米、民需は対前年同月比 101.2% の 71,053 立米であった。全体では 106.0% の伸びとなっており、特に官公需の伸びが大幅な伸びとなっている。また、鹿児島、川薩、始良伊佐、大隅地域など県内主要地域での伸びが大きくなっている。

コンクリート製品製造業

11 月度の出荷トン数は 12,693 トン（対前年同月比 106.2%）となった。出荷量は川薩地区、熊毛地区、奄美地区で増加しており、熊毛地区は対前年同月比 50% 増となった。受注は前年度並みとなっている。

金属製品製造業

需要の停滞、単価の下降など厳しい状況が続いている。

仏壇製造業

海外産輸入仏壇内訳（主たる輸入国：中国、ベトナム、タイ等）は、8 月 24,862 本、9 月 24,184 本、10 月 22,056 本。24 年累計 250,046 本。

印刷業

業界が繁忙期を迎えるこの時期、ネット販売や値下げ競争による影響が減収減益につながる問題として取り沙汰されている。官公需の制度見直しもなかなか実行には至らず問題山積みである。どこか一つでも解決の糸口を見つけて、事態の打開を図りたいものである。

非 製 造 業

卸売業

金融円滑化法の廃止により、企業の与信管理（販売代金の回収リスク）を強化する動きがある。商売上の基本となるべく「信用取引」に陰りが見え、一時的かもしれないが景気後退の要因となる恐れがある。組合においては、今後業績不振による組合員の脱退も懸念される。

中古自動車販売業

11月に入り、さらに厳しさを増した。来店客が少なく、今後は懸念される。年末年始の商戦に期待したい。

青果小売業

対前月比 83.3%、対前年同月比 97.1%であった。

農業機械小売業

農業機械は季節によって使う機械が変化し、田・畑の中にシートで覆ったまま次の時期まで置いておく農家も少なくない。近年、この機械を狙っての盗難が相次ぎ、警察も手を焼いている。全国的に多発しており、現在被害防止に向けた取り組みを農水省を先頭に各組織で連携して実施している。

石油販売業

中東情勢の緊迫化で原油相場の上昇、円安の進行で元売りの仕切値上げが加速した。一方、小売りはコスト転嫁が鈍く、マージン悪化を招いている。現状の景気下で売上は減少傾向にあり、更に厳しさを増している。

鮮魚小売業

11月に入り、「みなと新聞」にはお正月用品の品物が掲載され、早くも「かずのこ」が2割高となっている。また、お重詰め合わせは百貨店で2～3万円台、量販店・コンビニで1万円台が売れ筋と見込んで「個食、少人数」を強化し、12月へ向けて売り込み合戦が始まっている。

商店街（霧島市）

11月の売上高は前年並みの傾向であった。中心市街地では、今年で3回目となる「八坂神社 秋まつり」を開催した。この事業は、中心市街地に来街者の回遊性を持たせ、もっと商店街を知ってもらうことを目的に始めた。5つの通り会が、それぞれの通りに設置した特設会場で来街者を秋の味覚や通り会自慢の料理などでもてなし、ステージやゲーム大会など通り会毎の色合いが出る祭りで大変な賑わいとなった。

商店街（薩摩川内市）

11月は売上など最悪の月であった。理由として原発停止の影響などが推測される。

商店街（鹿児島市/天文館地区）

11月下旬から寒さを感じるようになったが、アパレル関係は不調で景気の減速を実感している。12月初旬「年末だよ！天文館全員集合～♪」の一斉セールに期待したい。

サービス業（旅館業/県内）

11月も九州新幹線全線開業効果で好調であった昨年と比べると売上の減少傾向が続いている。急な衆議院解散で12月の忘年会シーズンに選挙となり、既に宿泊や宴会のキャンセルが少なからず出ている。政情が落ち着くお正月頃まで影響が出る恐れがあり、飲食店等も含め年間で一番の繁盛期にあきらめムードが漂っている。

美容業

競争過多状態であると各店舗が嘆いている。差別化を図りたいところではあるが、練習するとなると時間外になるため難しいのが現状である。来年は対策を考えたい。

旅行業

秋の旅行シーズンを迎えそれぞれの事業所の増減はあるものの、店頭販売より研修・職場旅行等の団体、バスツアーが増加した。九州新幹線の利用客も落ち着いてきた。11月の集客状況は、対前年同月比 102.8%であった。

建築設計業

従来、地元設計事務所や地元工務店が大半を担っていた一戸建て住宅の建設やリフォームも大手プレハブメーカーを中心に多種多様な住宅が供給され、地域に合わせて長年培ってきた地場産業や優れた伝統技術が継承されにくくなっている。消費税増税に伴い住宅市場は駆け込み需要が見込まれる反面、地元工務店はデフレの中、増税分を販売価格に転嫁できず身を削ることも想定され、抜本的な政府の経済政策が待たれる。

自動車分解整備・車体整備業

11月はほとんど前年と同様の動きであった。年末に向けて中古新規の車が増えれば、若干の期待はあると思われる。

電気工事業

太陽光発電は、まだまだ需要があり、家庭用・産業用ともに活況である。しかし、製品等に外国製が出回り、価格競争の状態になりつつある。

内装工事業

11月のラベル売上数は、カーテンラベル対前年同月比 147.1%で増加、壁装ラベル対前年同月比 53.9%で大幅に減少、じゅうたん等ラベル対前年同月比 370.1%で大幅に増加した。内装工事業全体の動きは鈍く、売上高も減少傾向にある。昨年より悪い状況である。

建設業（鹿児島市）

受注金額が低下している。また、材料費は値上となっている。

建設業（曾於市）

今年度は災害復旧工事の件数も期待できない。

貨物自動車運送業

11月に入り、燃料価格は一段と落ち着きを見せてきた。荷動きについては食肉等・青果物は昨年並みであったが、一般物の荷物は減少した。

運輸業（個人タクシー）

衆議院選の影響を受け売上が減少している。

倉庫業

景気が落ち込んで経済浮揚の話が聞こえてこない。日本、鹿児島を明るい希望が持てる社会状況にしてほしい。



平成 24 年 12 月 鹿児島県内企業倒産概況

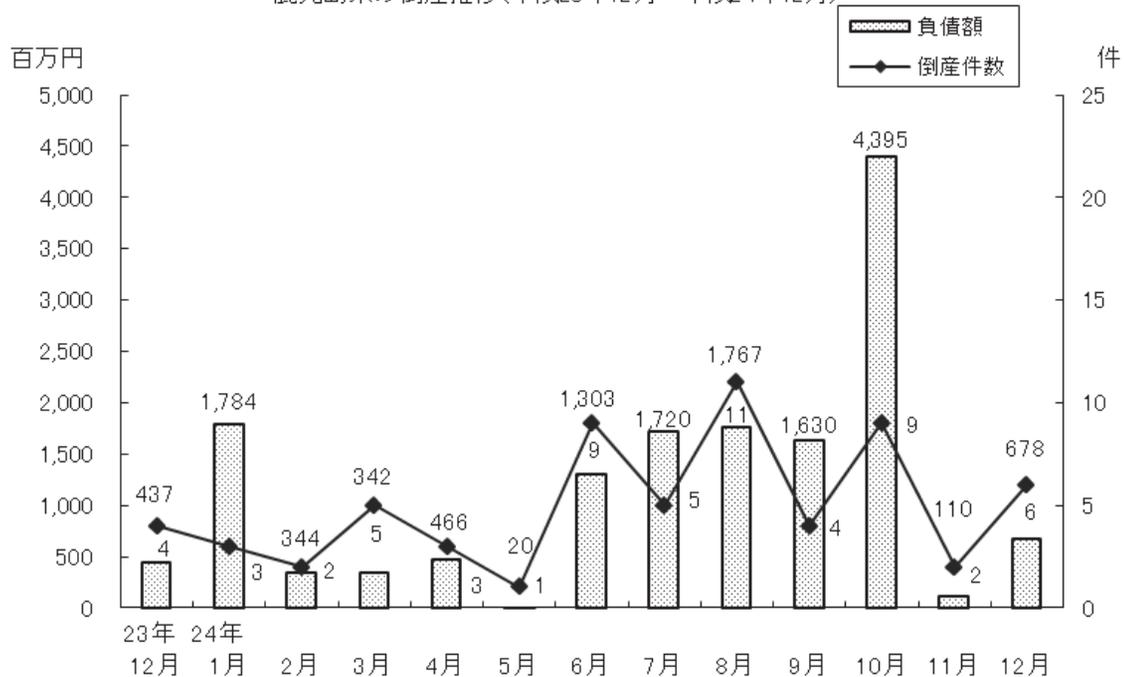
(負債額 1,000 万円以上・法的整理のみ)

(株)帝国データバンク 鹿児島支店

件数 6 件 負債総額 6 億 7,800 万円

〔件数〕前年同月比 2 件増 〔負債総額〕前年同月比 55.1%増

鹿児島県の倒産推移(平成23年12月～平成24年12月)



【概要】

平成 24 年 12 月の鹿児島県内の企業倒産（負債額 1,000 万円以上・法的整理）は、件数で 6 件（前月比 200.0%増、4 件増、前年同月比 50.0%増、2 件増）、負債総額は 6 億 7,800 万円（前月比 516.4%増、5 億 6,800 万円増、前年同月比 55.1%増、2 億 4,100 万円増）となった。

【各要因別】

- ・業種別では、製造業 1 件、卸売業 1 件、小売業 2 件、サービス業 1 件、その他 1 件。
- ・主因別では、販売不振 6 件。
- ・資本金では、100 万円～1,000 万円未満 3 件、1,000 万円～5,000 万円未満 3 件。
- ・負債額では、1,000 万円～5,000 万円未満 4 件、1 億円～5 億円未満 2 件。
- ・地域別では、鹿児島市 2 件、南薩地区 1 件、霧島・始良地区 1 件、大隅地区 2 件。

【ポイント】

12 月度としての倒産件数は、前月比 4 件増の 6 件であった。年間の件数としては平成 21 年の 56 件を上回っている。(株) Y は 8 月に事業停止から破産開始となった。

K (有) は、近年の相場低迷の影響から売上後退が続いていたもので、餌料・燃料等の高騰から採算維持が困難な状況に陥り、法的申請に踏み切ったものである。

【今後の見通し】

12月発表の内閣府月例経済報告によると、生産や個人消費の判断を上方修正した半面、輸出や設備投資などを下方修正した。総括判断は「このところ弱い動きとなっている」として据え置いた。

総括判断は11月まで4カ月連続で判断を下げており、据え置きは5カ月ぶり。また、12月に発表された日銀短観でも6期ぶりに悪化するなど、世界経済の減速や日中関係の悪化の影響で製造業が低迷した。

鹿児島県内の景況としては、生産活動では焼酎生産は前年を上回り、出荷量はほぼ横ばいとなった。かつお節生産も2カ月連続で前年を上回った。電子部品関連については、家電や自動車関連の需要低迷や海外との競争激化で厳しいものの、スマートフォン向けが堅調に推移している。消費関連に関しては、大型小売店は前年を下回り、新車販売台数も3カ月ぶりに前年を上回った。畜産も肉用牛枝肉相場は回復しつつあるが水準は低く、豚肉相場は前年を上回った。

建設関連では公共工事の件数は前年を下回ったが請負金額は前年を上回り、連動して生コン生産量にも伸びが見られた。県内景況の牽引役であった観光業は離島地区を除いて宿泊客数の前年割れが続いている。

政権交代により景気刺激策が講じられようとしているが、足許の景況悪化からの脱却は依然として課題が山積している状況にある。その中であって明確な出口戦略が見出せない倒産予備軍は依然として潜在化している傾向にある。来年3月で期限切れとなる中小企業金融円滑化法終了以後の中小企業支援については様々な政策パッケージも検討段階に入っているとされているが、中小企業再生に自助努力にも限界があり、年度末にかけて倒産件数が増加していく可能性がある。

平成24年12月企業倒産状況（法的整理のみ）

企業名	所在地	業種	負債総額 (百万円)	資本金 (千円)	態様
(株) K	鹿児島市	小売業	20	10,000	特別清算
(株) F	霧島市	製造業	10	3,000	破産
(有) K	鹿児島市	サービス業	10	3,000	破産
K(有)	鹿屋市	その他	220	10,000	破産
(株) Y	日置市	小売業	400	10,000	破産
(有) A	鹿屋市	卸売業	18	3,000	破産
			6件 6億7,800万円		



中央会関連主要行事予定

平成 25 年 2 月	
5 日(火) 18:30	店主のためのフェイスブック中級セミナー 【天文館地区】鹿児島市「コルテーヌビル7F」
14 日(木) 14:00	中小企業のための情報セキュリティ対策セミナー 鹿児島市「アーバンポートホテル鹿児島」
19 日(火) 13:30	IT活用研修「みんなのビジネスオンライン」 鹿児島市「中央会会議室」
21 日(木) 10:00	組合決算講習会 鹿児島市「アーバンポートホテル鹿児島」
27 日(水) 13:30	IT活用研修「みんなのビジネスオンライン」 薩摩川内市「川内商工会議所」
平成 25 年 3 月	
5 日(火) 17:30	中央会理事会 鹿児島市「ホテルレクストン鹿児島」
12 日(火) 13:30	IT活用研修「みんなのビジネスオンライン」 鹿屋市「鹿屋商工会議所」

組合決算講習会

「組合の決算事務について」
税理士法人鹿児島さくら会計
副所長 貫見昌良氏

日時 平成 25 年 2 月 21 日(木)
10 時 00 分～16 時 00 分
場所 鹿児島市「アーバンポートホテル鹿児島」

※当日必要な書籍について
「中小企業等協同組合会計基準」(2,100 円)
を忘れずお持ちください。
購入を希望される場合は事前にお申込み下さい。

経営セーフティ共済

「経営セーフティ共済」は、中小企業倒産防止共済制度の愛称です。

取引先の突然の倒産！
まさかのときの資金調達先は
準備していますか？

資金ショートで連鎖倒産してしまつた
売掛金が回収できなくなつた

自社のリスク
マネジメントの
ひとつとして
お考えください。

1 加入し、掛金を積み
立てておけば…

回収困難となつた売掛金(被
害額)相当の資金を調達でき
ます。(最高8,000万円まで)

2 「取引先の倒産」と
「商取引の事実」の
確認で迅速に貸付実行。

★掛金は損金(必要経費)に算入できます。

平成23年10月から改正!

- ① 共済金の貸付限度額 : 3,200万円 → 8,000万円
- ② 掛金の積立上限額 : 320万円 → 800万円
- ③ 掛金月額上限額 : 8万円 → 20万円
- ④ 共済金の償還期間 :
一律5年 → 貸付額に応じて5～7年
5,000万円未満 5年
5,000万円以上6,500万円未満 6年
6,500万円以上8,000万円以下 7年
- ⑤ 早期償還手当金の創設

●お申し込みは
鹿児島県中小企業団体中央会
総務企画課 099-222-9258

美味しい時間を3つのレストランで



1階 カフェレストラン トリアン



2階 日本料理 七彩



13階 スカイラウンジ フェニックス

鹿児島 サンロイヤルホテル

鹿児島市与次郎1丁目8番10号 Tel:099-253-2020



ホテル ⇄ 鹿児島中央駅・天文館

無料シャトルバス運行中!

お役立てください県共済



- ◆火災共済（建物内動産火災共済）
- ◆自動車事故費用共済（まごころ共済）
- ◆生命傷害共済（あんしん共済）
- ◆医療総合保障共済・傷害総合保障共済
- ◆自動車総合共済（MAP）



県共済

鹿児島県火災共済(協)
鹿児島県中小企業共済(協)

理事長 小正 芳史

〒892-0821 鹿児島市名山町9-1(産業会館) TEL (099)225-4218
ホームページ <http://www.synapse.ne.jp/kenkyosai> FAX (099)227-3595

中小企業と、熱き絆で。



人を思う。未来を思う。

商工中金

商工中金 鹿児島支店

〒892-0847 鹿児島市西千石町 17-24 ☎099-223-4101
<http://www.shokochukin.co.jp/>

小規模企業の
経営者の
みなさまへ

小規模企業
共済制度

経営者ご自身の 「現役引退後の生活資金」のことを お考えですか？

こんな悩みにお応えします

「年金だけでは不十分で、不安がある」
「自分で積み増しするには、どんな
ものがあるの？」

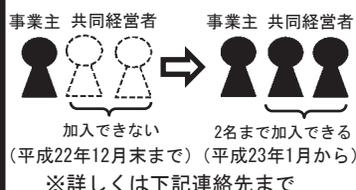


小規模企業共済は、「小規模企業経営者の
ための退職金制度」です。

平成23年1月1日より
受付開始！

『事業主の「共同経営者」
も加入の対象となります』
共済加入対象者が、個人事業主
の配偶者や後継者など
「共同経営者」まで拡大されます
(1事業主につき2人まで)

共同経営者の加入イメージ



加入し、掛金を毎月積み立てておけば…

将来、「廃業」「役員退任」等が生じたとき
に共済金をお受け取りいただけます。



現役引退後の安心した
生活設計が図れます。



●本制度の詳しい内容は、パンフレットを必ずご覧ください。

本制度のお申し込みは

鹿児島県中小企業団体中央会

〒892-0821 鹿児島市名山町9番1号
TEL 099-222-9258 FAX 099-225-2904

ポイント

1. 加入に年齢制限はありません。60歳以上でもOK!
2. 常時使用する従業員の数が、20名以下(商業、サービス業5名以下)の個人事業主、又は会社の役員の方が対象です。
3. 毎月3万円の掛金(年間36万円)で、例えば、課税対象所得400万円の方ならば108,000円の節税になります。
4. 「小規模企業共済法」に基づき運営されています。

すでに本制度に加入されている方は…

掛金月額1,000円～70,000円の範囲内で自由に
設定できます。(500円きざみ)

▶現在の掛金月額が7万円に達してい
ない方は、増額をお勧めいたします。

※掛金月額増額申込書と増額される金額(現金)を添えて左記へお申し込みください。
(掛金月額増額申込書がお手元に無い場合は、下記の共済相談室へご請求ください。)

制度の運営機関：独立行政法人中小企業基盤整備機構 TEL 050-5541-7171(共済相談室) URL <http://www.smrj.go.jp/kyosai/index.html>

発行所／鹿児島県中小企業団体中央会

鹿児島市名山町9番1号 〒892-0821

電話(099)222-9258 FAX(099)225-2904

発行人／小正芳史 印刷所／溯上印刷株式会社

電話(099)268-1002 FAX(099)266-3423